

研究機関名：誠愛リハビリテーション病院

<b>研究課題名</b> 自宅内歩行の獲得を目的に積極的に外泊を行い、指導・アプローチを実施した結果、円滑な在宅復帰へと至った一例
<b>研究期間</b> 西暦 2013年2月（倫理委員会承認後）～ 2013年8月
<b>対象材料</b> 診療情報（基本情報、理学療法評価情報、作業療法評価情報、言語聴覚療法評価、機能的自立度評価情報） 上記材料の採取期間 西暦 2013年2月2日 ～2013年8月25日
<b>意義・目的</b> 回復期リハビリテーション病棟に入院中の患者の外出・外泊はご家族が患者本人の病態の現状を理解する機会でもあり、また病棟では気づかない問題点を見つけ、自宅での生活パターンや役割を確立するために必要な訓練である。今回、年齢が若く主婦として社会参加が求められたが、重度感覚障害と失語の影響から歩行獲得に苦渋した症例を経験した。そこで家族や病棟スタッフ間の連携を積極的に行い在宅復帰に至ったので、その経過に考察を加えて報告する。
<b>方法</b> 平成 25年1月に左被殻出血を発症、右片麻痺を呈した40歳代女性に対し平成 25年2月2日から平成 25年8月25日まで当院において自宅内の歩行獲得、及び日常生活動作の自立を目的に理学療法、作業療法、言語聴覚療法を実施。外泊毎に家族に対して、自宅での介助量や困ったことについての情報収集を行い、それをもとに家庭訪問・家族指導を実施した。
<b>本研究の問い合わせ窓口</b> 誠愛リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法士 本山 誠 〒816-0956 福岡県大野城市南大利2丁目7-2 TEL 092-595-1151 FAX 092-595-1199 E-mail kenkyu@seiai-riha.com